

ふれあい西本郷小

令和5年度
6月号

横浜市立西本郷小学校 学校だより 令和5年5月31日(水)
一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子
キャッチフレーズ: あいさついっぱい みんながえがお 西本小

学校の様子は、学校HPをご覧ください。

人々の願いは時代を超えて

副校長 丹羽 多香

昨年2月、岡山のお寺で秘蔵されてきた「人魚のミイラ」の正体が、科学的な調査で明らかになりました。取材した記者によると、「人魚のミイラ」は、ガラス越しには、子犬か子猫のよう。近づくと、下半身にヒレやウロコが確認でき、目を見開き、ほおの近くに両手を添えているそうです。最終的に調査チームは、「人魚のミイラ」を造形物と結論づけました。

「人魚のミイラ」は、全国でいくつか見つかっているようですが、作られた時代は、いずれも疫病や災害が起きた江戸後期から明治時代と言われています。木や石で作られた仏像を拝むのと同じように、「人魚のミイラ」を見ること自体にご利益があったと考えられています。

私たちは、ここ何年か、新型コロナウイルス感染症に罹患しないようにとマスクや消毒液を常に携帯し、不安と背中合わせで毎日を過ごしてきました。5月にコロナが5類に移行し、学校現場では長いトンネルにようやく出口が見えてきたように感じています。マスクを外した子どもたちの笑顔や表情の豊かさ、くぐもることのない声…。友達との距離や対面での活動を気にしなくてもよい生活が、こんなにも活気に満ちた楽しいものだったことに改めて気づきました。

「人魚のミイラ」が作られた何百年も昔、今と同じように人々が苦しみ、恐怖と不安の中で生活していたのかと思うと、不思議な気持ちになります。人々は、「人魚のミイラ」に希望を託し、私たちと同じように、安心して暮らせる日常を待ちわびていたのでしょう。そして、「人魚のミイラ」は人々の希望を一心に背負って大切に捧められてきた存在であり、たとえ造形物であっても人々の強い願いは本物だったのだと思います。

さて、西本郷小学校も、今年度は少しずつ制限を取り払い、学校行事等についても従来の形を念頭におきながら、さらに良い方法をめざして実施していきます。引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ・お願い

- 過日、別紙でお知らせしましたように、 日()に学校公開日として授業参観を行います。参観の時間を指定させていただきましたので、各学級担任から配付されお手紙をご確認の上、ご参観ください。よろしくお願いいたします。
- 5年御殿場宿泊体験学習、6年日光修学旅行中の他学年の登校について、登校班班長が不在となる場合、副班長が代理として、登校班をまとめてください。また、班長、副班長、代理となる高学年児童がいなくなってしまう場合、他の班と合流するなど、連絡員の方と相談してください。
- 学校納入金について、過日、別紙でお知らせしましたように、5月25日(木)引き落とし自動振替できなかった場合、6月12日(月)に再振替を行います。再振替でも引き落としができなかった場合は、現金納入となります。保護者の方が、学校にお持ちいただくこととなりますので、ご協力ください。なお、1年生につきましては、入学時の共同購入費3,730円が加算されます。
- 6月の学校カウンセラーによる教育相談日は、5日(月)、8日(木)、22日(木)、29日(木)です。相談をご希望の方は、児童支援専任教諭または養護教諭までお申し込みください。